

# 東京邑南町 ふるさと会通信

発行日 平成29年9月10日  
 号数 第1号  
 発行人 東京邑南町ふるさと会  
 中村輝夫 編集人 三宅良二  
 事務局 千葉市若葉区若松町902-12

## ご挨拶

中村 輝夫（高原出身）  
 東京邑南町ふるさと会の  
 皆さん。今日は。

会長の中村輝夫です。平成  
 二十九年八月十一日の役員  
 会で会報発行の決議がなさ  
 れ、その第一号に会長として  
 のご挨拶をする榮譽を与え  
 られました。

会報発行の発案者は、事務  
 局の三宅良二さんです。民謡  
 の歌手でもある三宅さんには、  
 ふるさと会運営の中心とし  
 て私が会長であった期間  
 に大変お世話になり感謝の  
 気持ちで一杯です。それと言  
 うのも、今季限りで私は会長  
 を退任することとし、役員会  
 で承認されました。次期会長  
 は半谷豊さんです。私は八十  
 才を超え、会長の重責に耐え  
 らそうにありませんので、退  
 任する決意をしました。

退任するに際し、改めて「ふ  
 るさと会」とは、何ぞや・何  
 を目的に運営したらいいの  
 かという、会長在任中の悩み  
 を語り、会員の皆様の考えて  
 頂き、今後のふるさと会発展  
 に生かして欲しいと思いま



す。  
 ふるさと会の目的は、基本  
 的には二つあると思います。  
 一つは、故郷を共にする異郷  
 の会員が「ふるさと」発展の  
 為に尽す、例えば、ふるさと

納税とか、ふるさと産の米  
 や味噌を購入するとか、地元  
 では考えにくい発想で故郷  
 発展の知恵を出して伝える  
 といったことです。  
 二つ目は、異郷に住むこと

になった故郷を共にする会員自体の為に、尽すということ、例えば定期的に会合し、方言まる出しで一杯やったりながら楽しい一時を過ごすことといったことです。理想的には、故郷発展に尽くしながら、会員の為になるといった運営ですが、最近の状況では、ふるさと会総会への出席会員の減少傾向が続いていま



す。これも会長としての私の不徳の致すところで、汗顔の至りです。

私は総会で「ここにお集まりの皆さんは、何百年か前に遡れば、全員が血縁です。何の蟠りもなく、思うぞんぶん語り合い楽しい一時を過ごしましょう」とお話しします。半谷新会長のもと、「東京邑南町ふるさと会」が益々発展すること祈念します。

## 会報に寄せて

半谷 豊（口羽出身）

私の出身は羽須美村口羽田中旅館の長男として生まれました。上京をして五十年を超え、日々なんとか生きております。邑南町との関りは、今母が一人で口羽におり、年一回の帰省と、何年か一回行う同級会くらいになりました。

私は七十才まで、金属焼付塗装業と、食品・電気・半導体のラインを作っていました。自分で、ここで停年にしようと考え、はりつめた現役を止め、今は妻と二人、ゆつくり生活を楽しんでおります。これからは少し、島根県・邑南町との関

りを多くしていく考えであります。東京邑南町ふるさと会を少しでも、盛り上げる様、努力していきます。

## ふるさと邑南町の

## 米を買うちゃんさい。

東京邑南町ふるさと会では、十里邑南町でできたお米を食べて頂けるよう世話にさせて頂いています。今年も美味しいお米をお届けできるよう準備手配を進めています。

「口羽をてごおする会」のご協力で、一昨年よりご案内しておりますが、今年も旧石見町日和のお米も購入いただけることになりました。

「米作り」は、先祖代々受け継がれてきた水田を守り、故郷の美しい田園風景、豊かな自然と共にある、邑南町の原風景を、後世へと引き継いでいく大切な役割を担っています。土手の草がきれいに刈られた、稲刈り前の、黄金色に実った稲穂が、波打つ風景。棚田は好きな風景です。つきましては二十九年度産の新米の注文を受け付けます。一度だけの注文も可能ですし、年間契約もできます。

お届けするお米は、農家の冷温庫に玄米で保管し、その都度精米され

ています。初回時に生産者の栽培履歴を同封して頂きます。

口羽のお米の品種はコシヒカリ、またはキヌムスメ、日和のお米はコシヒカリです。三十kg（白米）のみ、玄米一袋を精米してお送って頂くため、約二十七kg程度の重量になります。その他は正味の重量です。

同封の払込用紙にて送金頂き次第それぞれ送って頂けるよう手配致します。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願いします。一回でもええけえ頼んじやいさい。

### ■ 口羽のお米

コース		内 容	価 格
1年コース	1	毎月10kgづつ×12回	53,200
	2	毎月5kgづつ×12回	31,800
半年コース	3	毎月10kgづつ×6回	26,800
	4	毎月5kgづつ×6回	16,000
その都度コース	5	一度に30kg	12,000
	6	一度に15kg	6,650
	7	一度に10kg	4,700
	8	一度に5kg	2,750

### ■ 日和のお米

コース		内 容	価 格
1年コース	9	毎月10kgづつ×12回	60,000
	10	毎月5kgづつ×12回	34,800
半年コース	11	毎月10kgづつ×6回	30,600
	12	毎月5kgづつ×6回	18,000
その都度コース	13	一度に30kg	12,900
		一度に15kg	—
	14	一度に10kg	5,300
	15	一度に5kg	3,150

上記はいずれも送料込みの金額です。



三江線・記憶の記録

DVD先行予約のお願い

平成三十年四月に開業八十八年の歴史に幕を下ろす三江線。

井上勤さんは桜江町谷住郷ご出身で、三江線で高校に通学されてきました。三江線は生活の一部でした。

幾多の自然災害を乗り越え、人と、自然と共に時を刻み、共生してきた姿は、まさに米寿を迎えた人生そのものと言えます。そのような三江線が、私たちの日常の情景から姿が消えてしまふことは、故郷の大切なものの一つを失った感覚です。二度と見ることを出来なくなる、三江線の、四季の情景をJR西日本から公認頂き、「三江線・記憶の記録」DVDとして、後世に伝えることを目的とし、来春3月完成に向け、映像制作中です。

正式発売は来春ですが、先行予約を受け付けております。

先行予約頂いた皆様には、特典として、全国送料無料 さらに大人のファイル「古今石見国」をプレゼントさせていただきます。「返信用はがき」で申し込み下さい。

三江線の四季折々の風景を、お楽しみ下さい。どうぞ宜しくお願い致します。

三江線DVD「記憶の記録」先行予約申し込み



4台のカメラとドローンによる空撮で四季折々の全線を完全収録

35 駅舎の情景、車窓からの風景が織りなす記憶の記録です。



構成内容

販売価格 5,400円 (税込)

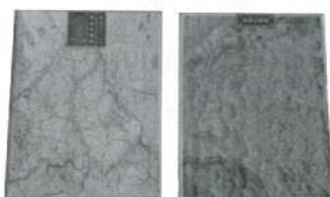
- ・プロローグ・春・夏・秋・冬・エピローグの6部60分構成
  - プロローグ: SL (C56160) 走行などアーカイブ映像による三江線の歴史
  - 春: 江津駅～石見川本駅
  - 夏: 木路原駅～潮駅
  - 秋: 石見松原駅～香淀駅
  - 冬: 式敷駅～三次駅
  - エピローグ: 空撮映像を中心に車両(キハ120形)と35駅の風景ハイライトシーン
- 四季それぞれの風物、風景、情景をドローンを含む5台のカメラで収録

5月1日先行予約開始

1,000組限定先行予約

平成30年3月完成発売開始

\* 先行予約は1,000組に成り次第締め切らせて頂きます。



表面

裏面

先行予約特典

特典1 ■ 全国送料無料

特典2 ■ 大人のファイル「古今石見国」

1617年徳川幕府の任命で津和野藩によって描かれた石見国絵図



# 平成29年度

## 総会案内

今年度の総会及び懇親会が、十一月十一日土曜日、正午より東京大手

町サンケイプラザに於きまして開催されます。どうぞお誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願いいたします。当日は邑南町からもお越し頂く予定です。また石見神楽を皆さんに見て頂けるよう、石見神楽東京社中をお招きしております。

また、参加者の皆様には邑南町の

2012/11/11

日時 平成29年

11月11日土曜日

場所 大手町

サンケイプラザ

千代田区大手町一七七一

☎〇三一二七三一二五八

各線大手町A4 E1出口直結

東京駅丸の内北口徒歩七分

会費 男性 9,000円

女性 8,000円

同伴者 5,000円

学生 3,000円

中学生以下無料。

当日会場にて申し受けます。

【石見神楽東京社中のご紹介】

首都圏での石見神楽の認知度向上と、石見地方の観光誘客につながる各種の取り組みを実施するため、二〇一一年六月、首都圏在住の石見地方出身者で、石見神楽経験者を中心に結成。現在、20代〜60代の男女二十名が在籍。伝統芸能「石見神楽」の伝承に一生懸命取り組み、石見の地に息づく伝統文化の魅力を多くの方に知ってもらうため、首都圏にて年間二十回程度の奉納、上演を行い、石見神楽の認知度向上と石見地域への誘客の促進を図っています。

### 編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今頃、ふるさと邑南町は、稲刈りの真っ

最中でしょうか。天日乾燥の「はで」にか

ける風景は、少なくなつたようですが、

秋の田園風景、「実りや実るほど頭（こ

うご）を垂れる稲穂かな」と、先輩に言

われたことを思い出します。8月の役員

会で、皆様に少しでも多くの情報が

発信できるようにと、会報を発行する

ことが決まりました。また、今年度の

懇親会には、役員の皆様と相談して、

石見神楽東京社中をお招きして、皆様

に楽しんで頂けるよう準備を進めてい

ます。その他「日本橋しまね館」から出

店して頂く予定です。今号には、中村

会長と、半谷豊副会長に寄稿頂きました。

(少々フライング気味ではありますが)

が。次号は来年9月。皆様からの原

稿をお待ちしております。テーマは何

でも、また個別にお願いさせて頂きま

すが、その節にはご協力の程、どうぞ

宜しくお願いします。十分注意して

おりますが誤字脱字等ありましたら、

お許し下さい。お気づきの点がありま

したら何なりと申し付け下さい。

暦の上では秋、いくらか過（こ）しやす

なってきましたが、天候不順の日が続

きそうです。総会で、元氣にお会い

できますよう、どうぞご自愛下さい。

三宅良（天土萩原 梅吉屋の三男）

# 第1回東京邑南町ふるさと会



新米等を、お土産にと、進めていきます。どうぞ楽しみして下さい。秋の一日、タイムスリップして、古里の言葉で四方山話をと願っております。懐かしいお友達に、「たまにやあや、行くうで」と声を掛けて頂き、「ちろうて、来ちゃんさーい」

総会は毎年十一月の第二土曜日に開催予定です。